

Tokai

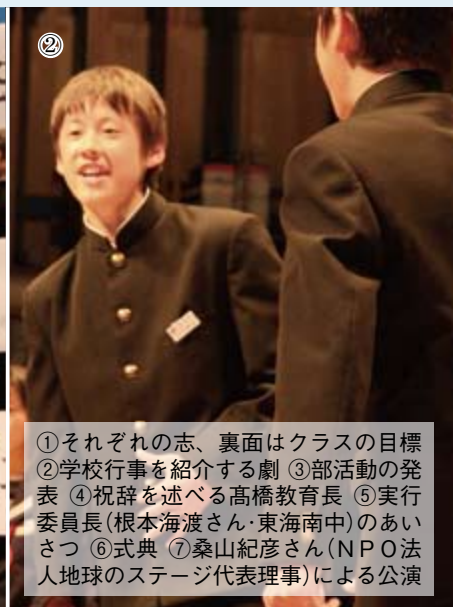
広報とうかい お知らせ版
人・自然・文化が響き合うまち

February [No.215]

2・25

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2010年[平成22年]



①それぞれの志、裏面はクラスの目標
②学校行事を紹介する劇 ③部活動の発表
④祝辞を述べる高橋教育長 ⑤実行委員長(根本海渡さん・東海南中)のあいさつ ⑥式典 ⑦桑山紀彦さん(NPO法人地球のステージ代表理事)による公演



351人が“未来の鍵”を探す 立志の年を迎えました

2月10日、東海文化センターで平成22年「立志式」が行われました。立志の年を迎えた中学2年生351人(東海中学校186人・東海南中学校165人)は、「飛翔～未来への鍵を探して～」をテーマに、1年間、職場体験やボランティア活動を行いながら、将来の夢や希望を探してきました。その集大成となる立志式では歌や劇、映像を交えて、これまでの成果や学校生活で学んだことなどを振り返るとともに、今後の意気込みを発表しました。立志の決意を文集にまとめた立志者たち。それぞれが探し出した“未来への鍵”は自立への“鍵”となることでしょう。

Contents [情報満載]

- ご存じですか?「認定農業者制度」…2
- 募集／姉妹都市「アイダホフォールズ市」への
一般訪問団員(18歳以上の方)ほか…4
- 催し物／とうかい有機農業セミナーほか…5
- エトセトラ／ご家庭の廃食用油を提供してください、
住宅用火災警報機を設置しましょうほか…7
- げんきアップ通信／マニティマークは“妊産婦の印”…9
- さわやかインタビュー／鈴木さゆりさん…10
- ふるさと歴訪(歴史を)
／石橋の駅家…10



どう存じますか？

「認定農業者制度」

「認定農業者制度」とは

農業者の高齢化や後継者不足による担い手の減少が深刻化する中、意欲と能力のあるプロの農業経営者を育成・確保していくことが、今日の農政の重要な課題となっています。

このような課題を解決するため、に設けられたのが、「認定農業者制度」です。これは、農業経営基盤強化促進法に基づき、村が地域の実情に合わせて効率的・安定的な農業経営の目標等を内容とする基本構想を策定し、この目標を目指して農業者が作成した「農業経営改善計画」を村長が認定するというもの。認定の有効期間は5年間ですが、新たな計画を作成することにより、再認定を受けることができます。

認定農業者のメリット

① 農地や施設への投資支援…農業経営改善のための長期低利資金（スーパール資金等）などの融資

制度が利用できます。

② 農地集積と規模拡大支援…農業委員会に申請することで、農地の斡旋が優先的に受けられます。

③ 経営改善の支援…認定後の経営フォローアップ、経営改善に関する情報提供、各種研修会への参加等の支援が受けられます。

認定の手続き

● 認定の申請

認定を受けようとする方は、自身の5年後の農業経営をどのような方向に改善・発展させていくのか、また、それを実現するためにどのような方法をとるのかなどを盛り込んだ「農業経営改善計画」を作成し、村に申請します。計画の作成に当たっては、東海村農業支援センターがお手伝いします。

● 計画に記載する内容

① 経営規模をどう拡大するか（作付面積、作業受託面積等）
② 生産方式をどう合理化するか

（機械の導入による省力化等）
③ 経営管理をどう高度化するか（複式農業簿記の記帳等）
④ 農業従事の態様等をどう改善するか（休日制・給料制の導入等）

● 認定の基準

① 計画が村の基本構想（年間農業所得530万円以上、年間労働時間2000時間程度等）に照らして適切であること。
② 計画の達成が確実であること。
③ 計画が農用地の効率的・総合的な利用を図るために適切であること。

● 認定の対象

年齢が70歳以下の農業者であれば、性別、専業・兼業の別、経営規模の大小、営農類型、経営組織

4経営体が再認定



（左から）塙さん、根本（正）さん、村上村長、根本（一）さん、藤戸さん

2月3日、農業経営改善計画認定証交付式が村長室で行われ、村上村長から4経営体に認定証が交付されました。今回認定されたのは、塙昇さん（須和間在住・56歳）、根本正文さん（竹瓦在住・47歳）、根本一成さん（白方在住・54歳）、藤戸隆幸さん（舟石川在住・63歳）の4人で、いずれも再認定。村上村長は祝辞の中で「農業を営んでいる方だけでなく、農業を志している方の鏡になるよう頑張ってもらいたい」と激励の言葉を送りました。

を問わず認定の対象となります。

東海村認定農業者協議会

東海村認定農業者協議会（会長・根本一成さん）は、村の認定農業者が、相互交流を図りながら自らの経営改善意欲を高め、地域農業の担い手として魅力とやりがいのある農業経営の実現を図り、村の農業の発展に寄与することを目的として組織されています。現在の会員数は18経営体（うち法人3）で、研修会等の活動を行っています。

申し込み・問い合わせ

東海村農業支援センター（東海ファーマーズマーケット）にじのなか「内 ☎ 287局7867」



(上段左から)沼田宏輝先生、荒木さん、高橋教育長、山田さん、塚本清恵先生、(下段左から)澤田さん、西中さん、竹澤さん

●東海南中学校吹奏楽部員、木管五重奏で全国大会へ！

1月25日、「第15回東関東アンサンブルコンテスト」において優秀な成績を収めた東海南中学校の生徒が、全国大会出場の報告に教育長を訪れました。今回までの予選会を勝ち抜き、全国大会出場への切符を手にしたのは、1639グループ中わずか2グループ。この偉業の裏には、平日・休日を問わず日々もくもくと練習に励む姿がありました。吹奏楽部部长である西中のどかさんをはじめとする木管五重奏のメンバー5人は、“つらい時でも頑張ることができたのは、支えてくださる方や応援してくださる方々がいたからです。その感謝の気持ちを音楽で表現しようと思いました”と話し、喜びも冷めやらぬ中、次の全国大会へ向けて気持ちを新たにしました。このメンバーでの最後の演奏となる「第33回全日本アンサンブルコンテスト」は3月20日(土)に開催——これまでに培った深い絆できっとすばらしい音色を聞かせてくれることでしょう。担当楽器とメンバーは次のとおりです。▼フルート・荒木美紘さん(1年)、オーボエ・山田涼子さん(1年)、ホルン・澤田千佳さん(2年)、ファゴット・西中のどかさん(2年)、クラリネット・竹澤麻裕美さん(2年)

●“心と体はつながっています”だから、毎日を楽しく、前向きに

1月22日、総合福祉センター「絆」において、介護予防講演会「心と体の老化防止体操～意識すれば細胞は働く～」が行われました。講師を務めた健康体操インストラクターの矢伏真理さんは、脳が活性化するポイントとして①指先を使う②考える③声を出す④体を大きく動かす⑤目的を持つ——ことの5つを挙げ、簡単な健康体操等を実践。「体を動かすことはもちろん、興味のあるものを見付けたり、意識して前向きな言動や考え方を持ったりすることで、“体から心へ”そして“心から体へ”相互に良い影響を与えます」と話し、そのユニークな語り口で会場は終始“笑い”に包まれました。毎日を楽しく、前向きに過ごすことが“若々しさ”や“長生き”の秘訣のようです。



●みちづくり塾と行政の協働による交差点整備

1月16日、みちづくり塾(塾長・武藤邁さん、塾生33人)は整備・改良された舟石川十字路の現地を見学しました。これまで行政とともに交通量調査や協議を重ねてきた塾生たちは、通・通勤する車が幹線道路の渋滞を避けようと生活道路に流入してきている現状を把握。それを受け十字路には右折車線が設置されました。また歩道には原則として縦断勾配5%以下、横断勾配1%以下というユニバーサルデザインを採用しており、車いす使用の参加者からは「傾斜があまり無いので信号待ちしているときも非常に楽です」と話を聞くことができました。今回の現地見学の感想等も今後の交差点整備に生かされていきます。



3月の健康体操参加者募集

問 合 せ 保健センター(☎282-2797)		
●のびのび健康体操(チューブ体操、ストレッチ体操など)		
時間	午前9時30分～10時45分	
対象	期日	場所
	5日(金)	中丸コミュニティセンター
村内在住で65歳以上の方	9日(火)	総合福祉センター「絆」
	16日(火)	総合福祉センター「絆」
●エンジョイ・ヘルスアップ(ストレッチ体操、ヨガなど)		
時間	午前9時30分～11時	
対象	期日	場所
	4日(木)	真崎コミュニティセンター
村内在住で40歳以上65歳未満の方	12日(金)	白方コミュニティセンター
	18日(木)	総合福祉センター「絆」

お知らせ・ピックアップ

いんぽおめーしょん

役場の

電話番号 ☎ 282-1711(代表)

テレホンサービス(☎0120-42-4848) ※屋外放送を無料で聞くことができます。

小学生ヒップホップサークル「Bubble Over」会員募集

年に一度の発表会や舞祭りに向けてレッスンしています。

- 活動日 毎週土曜日
- 時 間 午後4時～5時30分
- 場 所 村内コミュニティセンター
- 定 員 20人
- 会 費 2,500円/月
- 申し込み・問合せ 武子 光 世 さん(☎090-3045-7727 午後6時以降) ※見学や体験は随時受け付けています。

育児サークル「にこにこクラブ」会員募集

お子さんと同じくらいのお友達と遊ばせながら、親同士で交流できるサークルです。

- 活動日 第2・4木曜日
- 時 間 午前10時～正午
- 場 所 村内コミュニティセンター
- 対 象 0歳から就学前までの乳幼児とその親
- 内 容 工作、ゲーム、外遊びなど
- 会 費 無料 ※必要に応じて徴収する場合があります。
- 申し込み・問合せ 樋田 美 恵 さん(☎282-3770)



ガールスカウト団員募集説明会

体験活動を通して生きる力を育むガールスカウトの団員募集説明会を開催します。

- 日 時 3月7日(日) 午前10時～正午
- 場 所 中央公民館
- 対 象 年長(5歳)から小学6年生までの女子 ※保護者同伴でご参加ください。
- 内 容 ゲーム・クラフトなど
- 問 合 せ 安節子さん(ガールスカウト茨城県第25団団員長 ☎282-3045) ※事前申し込みは不要です。

募集

姉妹都市「アイダホフォールズ市」への一般訪問団員(18歳以上の方)募集



東海村国際センターでは、村の国際親善姉妹都市であるアイダホフォールズ市(アメリカ合衆国アイダホ州)へ訪問するイエローストーン国立公園にて(一昨年)一般訪問団員を募集します。訪問団は市長表敬訪問や市内施設の視察、歓迎行事に参加するほか、ホームステイをする予定です。この機会に異文化に触れながら、交流を深めてみませんか。

- 訪問期間 6月30日(水)～7月10日(土)(予定)
- 対 象 18歳以上で、村内在住・在勤の方・東海村国際センター会員の方(先着10人程度)
- 費 用 約28万円(アイダホフォールズ市滞在中の費用等を除く) ※航空運賃の改定により、渡航費が変わる場合があります。
- 申し込み・問合せ 総務部自治推進課ハーモニー・交流担当(内線1342)または東海村姉妹都市交流会館(☎282-0535)に備え付けの申込書に必要事項を記入の上、3月31日(水)までにいずれかの窓口へ申し込みください。

会 費
1,500円/月

「廿声コーラス東海」会員募集

指揮者・伴奏者の指導の下、楽しく歌っています。

- 活動日 毎週火曜日(月4回)
- 時 間 午前10時～正午
- 場 所 東海村合同庁舎3階(音楽ホール)
- 申し込み・問合せ 大井 春 枝 さん(☎282-4013)

3月のニート相談・DV相談・消費生活相談

場 所	村民相談室(役場行政棟2階)
問 合 せ	総務部自治推進課村民相談室(内線1275)
●ニート相談(☎287-0862)…午前9時～正午、午後1時～5時	2日(火)、5日(金)、9日(火)、12日(金)、16日(火)、19日(金)、23日(火)、26日(金)、30日(火)
●DV相談(☎287-0863)…午前9時～正午、午後1時～4時	1日(月)、3日(水)、4日(木)、8日(月)、10日(水)、11日(木)、15日(月)、17日(水)、18日(木)、24日(水)、25日(木)、29日(月)、31日(水)
●消費生活相談(☎287-0858)…午前9時～正午、午後1時～4時	1日(月)、2日(火)、3日(水)、4日(木)、5日(金)、8日(月)、9日(火)、10日(水)、11日(木)、12日(金)、15日(月)、16日(火)、17日(水)、18日(木)、19日(金)、23日(火)、24日(水)、25日(木)、26日(金)、29日(月)、30日(火)、31日(水)

3月の心配ごと相談・人権相談・行政相談

場 所	心配ごと相談所(総合福祉センター「絆」内)	
問 合 せ	東海村社会福祉協議会(☎282-2804)	
相談日	時間	相談種別
5日(金)	10:00 ～ 14:00	心配ごと相談・人権相談 行政相談
	10:00 ～ 12:00	法律相談(事前予約)
12日(金)	10:00 ～ 14:00	心配ごと相談・人権相談
19日(金)	10:00 ～ 14:00	心配ごと相談・人権相談 行政相談
26日(金)	10:00 ～ 14:00	心配ごと相談・人権相談 行政相談
毎週	13:30 ～ 15:00	心配ごとと電話相談
月・水曜日	(祝日を除く)	(☎282-0917)

水中体操教室を開催します

高齢者の健康維持と障がい者の機能回復のための水中体操教室を開催します。

期 間
前半…4月5日(月)から6月24日(木)までの毎週1回 後半…6月28日(月)から9月25日(土)までの毎週1回 (各10回)

健康維持コース

■日 程 等

クラス	時間	定員
月曜1組	9:30～10:30	先着13人
木曜1組		先着13人
金曜1組		先着13人
土曜1組		先着13人
月曜2組	11:00～12:00	先着10人
木曜2組		先着10人
金曜2組		先着13人
土曜2組		先着13人
金曜3組	13:00～14:00	先着13人

■対 象 村内在住で65歳以上の方 ※月曜2組・木曜2組は、ほかの組よりもゆっくりと水中体操を行います。

リハビリテーションコース

■日 程 等

クラス	曜日	時間	定員
リハビリ1組	月	13:00～14:00	先着6人
リハビリ2組	木		先着6人
リハビリ3組	木	14:30～15:30	先着6人

■対 象 村内在住の40歳以上で、障がいがあり、機能回復訓練を希望する方

場 所

総合福祉センター「絆」(機能回復プール)

内 容

水中でのウォーキングや体操等

参 加 費

前半・後半ともに3,000円/人(それぞれに徴収)

申し込み・問合せ

3月1日(月)から11日(木)までに、高齢者センター(☎282-4300)へ申し込みください。▼初参加の方・障がいのある方・高齢の方を優先します。▼受け付けの際に簡単な問診を行います。▼医師の意見書が必要になる場合があります。

第22回東海さくらまつり

あんどん・ぼんぼりスポンサー募集

東海村観光協会では、阿漕ヶ浦公園内で開催する「第22回東海さくらまつり」の期間中(4月1日～18日)、桜を照らすあんどん・ぼんぼりのスポンサーを募集します。



●募 集 数 あんどん…40基(先着順)、ぼんぼり…100個(1スポンサー当たり10個まで)

●価 格 あんどん…20,000円/基、ぼんぼり…1,500円/個

●そ の 他 あんどんにはスポンサーの氏名・住所・電話番号が、ぼんぼりにはスポンサーの氏名が記載されます。

●申し込み・問合せ 3月3日(水)までに東海村観光協会事務局(経済環境部経済課内 内線1438)へ申し込みください。

催し物(講演会ほか)

みんなですこやかウォーキング

■日 時 3月3日(水) 午前10時から ※雨天時は中止となります。

■集合場所 総合福祉センター「絆」

■対 象 村内在住の方

■内 容 約1時間のウォーキング(4kmまたは5kmのいずれかのコースを選択)

■参 加 費 無料

■そ の 他 飲み物とタオルをお持ちの上、歩きやすい服装でご参加ください。

■問 合 せ 保健センター(☎282-2797) ※事前申し込みは不要です。なお、当日の午前9時30分から総合福祉センター「絆」(保健センター入り口前)で受け付けを行います。

3月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
期日	医療機関名	電話番号
7日(日)	村立東海病院	282-2188
14日(日)	東原クリニック	283-2301
21日(日)	村立東海病院	282-2188
22日(月)	茨城東病院	282-1151
28日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141
救急医療機関をお探しのときは▼毎日…24時間対応		
茨城県救急医療情報コントロールセンター(☎241-4199)		
茨城子ども救急電話相談▼午前9時～午後5時…日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)▼午後6時30分～11時30分…毎日		
ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から(☎ #8000)		
すべての電話から(☎ 254-9900)		

3月の健康相談

場 所	保健センター(総合福祉センター「絆」内)		
問 合 せ	保健センター(☎282-2797)		
●健康相談	相談名	日時	
	母子健康相談 (乳幼児身体測定、育児相談)	26日(金)	9:30～11:00 13:00～14:00
	元気アップ健康相談 (健康に関する相談)	26日(金)	9:30～11:00 13:00～14:00
●乳幼児健診	健診名	日時	対象児
	乳児	25日(木) 13:15～14:00	平成21年10月生まれの子
	1歳6か月児	17日(水) 13:15～14:00	平成20年8月生まれの子
	3歳児	18日(木) 13:15～14:00	平成19年1月生まれの子
	2歳半歯科	30日(火) 13:15～14:00	平成19年8月生まれの子
●乳幼児教室	教室名	日時	対象児
	赤ちゃん教室	16日(火) 13:20～15:00	平成21年12月生まれの子

生きがいつくり支援事業

NPO法人「楽楽茶の間」が村からの委託を受けて行っている「生きがいつくり支援事業」。健康体操やレクリエーションを通して、皆さんも楽しく仲間づくりをしませんか。

■日 程 等

期 日	場 所
3月2日(火)	真崎コミュニティセンター 須和間区自治集会所 豊白区自治集会所
3月8日(月)	白方コミュニティセンター 村松コミュニティセンター 舟石川中丸区自治集会所 豊岡区自治集会所
3月16日(火)	石神コミュニティセンター 百塚区自治集会所 須和間区自治集会所 外宿二区自治集会所
3月23日(火)	舟石川コミュニティセンター 豊白区自治集会所 百塚区自治集会所

- 時 間 午前10時～午後3時
- 対 象 村内在住で65歳以上の方
- 参 加 費 350円/回(昼食代)
- 問 合 せ 岡部ちい子さん(NPO法人「楽楽茶の間」事務局 ☎284-0215)

参加費
無 料

とうかい有機農業セミナー

環境に優しい持続可能な環境保全型農業の普及・啓発を目的とした「とうかい有機農業セミナー」を開催します。生産者をはじめ、消費者である皆さんのご参加をお待ちしています。

- 期 日 3月7日(日)
- 時 間 午後1時～4時
- 場 所 東海村研究交流プラザ(いばらき量子ビーム研究センター2階 白方162-1)
- 定 員 120人
- 内 容 ①講演 演題…「とうかい環境農業塾を振り返って」 講師…涌井義郎さん(財団法人農民教育協会・鯉淵学園農業栄養専門学校教授) ②パネルディスカッション テーマ…「有機農業が育む豊かな社会」
- そ の 他 参加者の中から抽選で、50人に菜種油のプレゼントがあります。
- 申し込み・問合せ 3月2日(火)までに、東海村農業支援センターへ電話(☎287-7867)またはファクシミリ(FAX287-7868)で申し込みください。※詳細については、村公式ホームページをご覧ください。



東海村吹奏楽団第4回演奏会

- 期 日 3月14日(日)
- 時 間 午後2時開演(午後1時30分開場)
- 場 所 東海文化センター
- 演 奏 曲 「『GR』より シンフォニック・レクシオン」「シンフォニア・ノビリッシマ」「ジャパニーズ・グラフィティ XI」「刑事ドラマ・テーマ集」「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」(東海村少年少女合唱団との共演)ほか
- 指 揮 原進さん(東海村吹奏楽団常任指揮者)
- 入 場 料 無料 ※未就学児も入場できます。
- 問 合 せ 東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)



昨年の様子

参加費
無 料

福祉の就職総合フェア～就職面接会～

福祉分野への就職希望者を対象に、求人者との就職面談や相談、求人情報の提供等を行います。

- 日 時 3月7日(日) 午後1時～3時30分(受け付けは午後0時30分～3時)
- 場 所 フェリヴェール・サンシャイン(水戸市白梅2-3-86)
- 参加事業所 現在職員を募集中または平成22年3月卒業予定者の採用予定のある社会福祉施設・団体、介護支援事業所等50事業所
- そ の 他 各自履歴書をご持参ください。
- 問 合 せ 茨城県社会福祉協議会(☎244-4544) ※事前申し込みは不要です。

共聴施設改修促進説明会

共同アンテナでテレビを視聴している場合、テレビを買い換えるだけでは地上デジタル放送を視聴できない場合があります。具体的な対応方法等の説明会を開催しますので、どうぞご参加ください。

■日 時 3月5日(金) ①午前10時30分から
②午後2時から

■場 所 茨城県三の丸庁舎(水戸市三の丸1-5-38)

■定 員 各80人

■参 加 費 無料

■問 合 せ 総務省関東総合通信局デジタル放送受信者支援室(☎03-6238-1721) ※事前申し込みは不要ですが、当日、定員になり次第入場をお断りする場合があります。

ナースバンクにご登録を

近年、医療の進歩や高齢社会の到来により、看護の重要性が増大しており、病院や訪問看護等に従事する保健師、助産師、看護師、准看護師の需要が急激に高まっています。そこで、現在未就業の方や退職予定の方、将来就職を希望している方など、看護職の方にお一人でも多く就業していただくため、ナースバンクへの登録をお願いします。

■特 典 ▼無料で就職相談や職業紹介を行います。▼年4回求人情報を送付します。

■問 合 せ 社団法人茨城県看護協会・茨城県ナースセンター(☎221-7021)

傍 聴 席

平成22年第1回東海村議会定例会開催

期 日	開会時間	議会予定
3月1日(月)	午前10時	議案上程
3月9日(火)		代表質問
3月10日(水)	午後1時	
3月11日(木)	午前10時	一般質問
3月12日(金)		議案審議
3月25日(木)		

■問 合 せ 議会事務局(内線1281) ▼10日の代表質問は午後1時の開会となりますので、ご注意ください。▼議会は住所・氏名等を記入すれば、どなたでも傍聴できます。▼当日は各コミュニティセンターや総合福祉センター「絆」でTV中継します。▼議会終了1週間後には、議会ホームページ(<http://www.gikaitv.net/dvltokai/index.html>)で録画をご覧いただけます。

小・中学校入学児童祝い金 贈呈事業調査にご協力ください

東海村社会福祉協議会では①生活保護世帯②準要保護世帯③在宅重度障がい者世帯④父子世帯⑤母子世帯——の小・中学校入学児童へ祝い金を贈呈するための調査を実施しています。

●調査対象者 ①生活保護世帯②準要保護世帯③父母または本人が身体障害者手帳1・2級または療育手帳A・Aの交付を受けている④父子世帯⑤母子世帯——で、平成22年4月に小学校または中学校へ入学する方(平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方または平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方)

●問 合 せ 民生委員・児童委員が訪問し、聞き取り調査を実施しています。2月末日までに訪問がない場合は、東海村社会福祉協議会(☎282-2804)へ問い合わせください。

エトセトラ

ご家庭の廃食用油を提供してください!

村では、廃食用油(使用済み天ぷら油等の食用油)を、軽油代替燃料のBDF(バイオディーゼル燃料)にリサイクルし、村の公用車に利用しています。地球温暖化防止、資源の有効利用のために、皆さんからの提供をお願いします。

○ (収集 できる油)	植物性油(菜種油・ごま油・紅花油・とうもろこし油・サラダ油等) ※調理の残りかすは取り除いてください。
× (収集 できない油)	著しく汚れた油、ラード、パーム油、鉱物油、エンジンオイル、店舗で使用した油等 ※収集できる油以外はBDFの原料に適さないため収集できません。 ※店舗で使用した油は廃棄物処理法で自ら処理することとされているため収集できません。

■収集場所・時間 各コミュニティセンター…休館日を除く午前9時～午後9時 リサイクルプラザとうかい…水曜日・祝日を除く午前9時～午後4時

■提供方法 ①500mlペットボトル等の中身が見えるプラスチック製容器に入れてください。②中身がこぼれないように容器のふたをしっかりと閉めてください。ふたがネジ式でない場合は、ふたにガムテープなどを巻いてしっかりと固定してください。※未開封の缶等はそのままの容器で結構です。



500mlのペットボトル 未開封

■問 合 せ 経済環境部環境政策課環境計画推進室(内線1453)

特定疾患・関節リウマチ・精神疾患患者に医療福祉助成金を支給します

特定疾患(原因が不明で治療方法の確立していない難病)の患者の方などに対し、医療費の自己負担分のうち、月額4,000円を上限に助成します。

■申請期間 3月1日(月)～31日(水) ※土・日曜日、祝日を除きます。

■対象 ①特定疾患の治療を受けている方(「一般特定疾患医療受給者証」をお持ちで自己負担のある方)②関節リウマチの治療を受けている方③精神疾患の治療を受けている方(「精神障害者保健福祉手帳」または「自立支援医療受給者証(精神通院)」をお持ちで自己負担のある方)——のいずれかに該当する村内在住の方

■必要書類 ▼申請書▼医療機関の領収書(領収日が平成21年9月(平成21年9月に申請をしていない方は平成21年3月)から平成22年2月までのもの)▼振込口座番号が確認できる通帳やカード▼委任状・印鑑(振込口座が申請者本人名義でない場合のみ)——のほか、①の方は受給者証、②の方は医師の診断書(過去に助成を受けたことのない方のみ)、③の方は手帳(「自立支援医療受給者証」をお持ちの方は「自己負担上限額管理票」)が必要となります。

■申し込み・問合せ ①・②の方…保健センター(☎282-2797) ③の方…なごみ・総合支援センター(☎287-2525)

となりのまちから イベントガイド

水戸市●水戸ホーリーホックホームゲーム前期試合日程

◆日程等

期 日	開始時間	対戦相手
3月6日(土)	16:00	栃木 SC
3月27日(土)	13:00	ギラヴァンツ北九州
4月17日(土)	16:00	アビスパ福岡
4月29日(木・祝)	16:00	東京ヴェルディ
5月5日(水・祝)	18:00	横浜 FC
5月15日(土)	13:00	ロアッソ熊本
5月29日(土)	13:00	ジェフユナイテッド千葉
6月13日(日)	13:00	ザスパ草津
7月25日(日)	18:00	大分トリニータ
8月15日(日)	18:00	FC 岐阜
8月29日(日)	18:00	サガン鳥栖

◆場 所 ケーズデンキスタジアム水戸(水戸市小吹町2058-1)

◆入 場 料

券 種	前売	当日
メイン中央席	大人	2,500円
	小中学生、高校生、シニア	1,500円
メインスタンド席	大人	2,000円
	小中学生、高校生、シニア	1,000円
バックスタンド席	大人	1,500円
	小中学生、高校生、シニア	500円
アウェイサポーター席	大人	1,500円
	小中学生、高校生、シニア	500円

◆問 合 せ 株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック(☎212-7700 ホームページ<http://www.mito-hollyhock.net/>)

住宅用火災警報器を設置しましょう!

住宅火災による犠牲者は毎年1000人以上——その原因の多くは、夜間就寝中に火災に気付かず逃げ遅れてしまったことにあります。このような犠牲を防ぐため、村では条例により平成20年6月から全ての住宅等に住宅用火災警報器の設置を義務付けています。

村で実施したアンケート調査(平成21年5月～7月)の結果によると、警報器設置の義務化について「知っている」と答えた方が9割に対し、「設置した」と答えた世帯は6割にとどまっています。いち早く火災の発生に気付き、避難できるよう、早めに警報器を設置しましょう。なお、村では65歳以上で一人暮らしの方等を対象に購入費を助成※しています。

■問 合 せ 消防本部予防課(☎282-2038) ※福祉部介護福祉課高齢支援担当(内線1164)

3月1日(月)から7日(日)は 春季全国火災予防運動週間

「消えるまで ゆっくり火の元にらめっ子」

●住宅防火・いのちを守る7つのポイント

①寝たばこは絶対にしない。②ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。③ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す。④火災時の逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。⑤寝具や衣類、カーテンに防災品を使用する。⑥火災による被害を最小限に抑えるために住宅用消火器を設置する。⑦お年寄りや体の不自由な方を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

●問 合 せ 消防本部予防課(☎282-2038)

1月の村内交通事故発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数
1月中の件数	18	0	25
1月からの累計	18	0	25
前年との比較	-6	0	-3

3月の資源物・ごみ収集日割表(祝日の収集も行います)

資源物			
真崎(旧原電滝坂含む)、村松北、舟石川中丸、外宿2、原子力機構(太田)	2日・9日 16日・24日	外宿1	10日・25日
船場、照沼	2日・16日	内宿1、亀下	4日・11日 18日・26日
原子力機構(長堀1・長堀2・荒谷台・箕輪)、須和間、フローレスタ須和間	1日・8日 15日・23日	百塚、内宿2、豊岡、舟石川3	4日・18日
緑ヶ丘	1日・15日	竹瓦	11日・26日
白方	8日・23日	舟石川2	5日・12日 19日・29日
舟石川1、原子力機構(百塚)	3日・10日 17日・25日	南台、川根	5日・19日
宿、押延、岡	3日・17日	豊白	12日・29日
※各回収日の午前7時から8時30分までに出してください。			

問い合わせ 経済環境部ごみゼロ推進課(☎282-7289)

燃えないごみ・粗大ごみ	
真崎(旧原電滝坂含む)、村松北、権現山寮、真砂寮	2日・16日
原子力機構(長堀1・長堀2・荒谷台)、長堀寮、舟石川3、石橋向住宅、外宿1、外宿2、竹瓦	1日・15日
緑ヶ丘、南台、豊岡、亀下	5日・19日
百塚、豊白、内宿1、内宿2	4日・18日
白方、岡、原子力機構(百塚)	9日・23日
舟石川1、船場	8日・22日
原子力機構(太田・箕輪)、宿、川根、照沼、押延、須和間、フローレスタ須和間	12日・26日
舟石川2、舟石川中丸	11日・25日

燃えるごみ	
真崎(旧原電滝坂含む)、村松北、白方、宿、岡、原子力機構(太田・箕輪・百塚・荒谷台)、真砂寮、権現山寮、南台、緑ヶ丘、押延、須和間、川根、照沼、豊岡、亀下、フローレスタ須和間	(毎週)月曜日・木曜日 1日・4日・8日・11日・15日 18日・22日・25日・29日
舟石川1、舟石川2、舟石川3、舟石川中丸、百塚、豊白、原子力機構(長堀1・長堀2)、長堀寮、石橋向住宅、外宿1、外宿2、船場、竹瓦、内宿1、内宿2	(毎週)火曜日・金曜日 2日・5日・9日・12日・16日 19日・23日・26日・30日

マタニティマークは“妊産婦の印” ～思いやりのある行動をお願いします～



妊娠すると、妊娠中、特に妊娠初期は、ホルモンの分泌量に変化するため、つわりや目まい、立ちくらみ、動悸、息切れなどの症状が出やすくなり、電車等では、立ったままでいるのがつらい状況です。また、胎盤が完成されていないため、体に負担をかけるのと流産しやすいといった危険性があります。このように、妊娠初期は赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持することがとても大切な時期です。

しかし、外見적으로는まだおなかのせり出していませんので、周囲の方には妊娠しているのが分かりにくい時期でもあります。そのため、妊産

婦の方からは、電車等の公共交通機関で、周囲の理解が得られず、優先席に座ることに戸惑いを感じる、といった声が出ました。

マタニティマーク



こうした状況を解決し、妊産婦に優しい環境づくりをするため、国では、平成18年にマタニティマークを決定しました。マタニティマークは、妊産婦であることを周囲に知らせる印です。周囲の方も、妊産婦であることが分かれば、配慮しやすくなると思います。

思いやりのある行動を マタニティマークを見掛けたら

マークを付けている妊産婦を見掛けたり、近くでの喫煙を控えたり、重い荷物を持つているようなら声を掛けるなど、思いやりのある行動をお願いします。

そのような気遣いを通して、掛け替えない命をはぐくむ妊産婦や子育て中のお母さんを守っていく、優しい東海村にしていきたいですね。

なお、村では、妊産婦の健康づくりに役立てていただけるよう、母子健康手帳交付時に、マタニティマークの付いた「マタニティキーホルダー」を無料で配布しています。また、マタニティマークは、厚生労働省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からダウンロードできます。

妊娠中・出産後の悩みは 保健センターへご相談ください

保健センターでは、妊娠中から出産後までのさまざまな不安や悩みに対する相談に応じています。妊娠中は、ちょっとしたことで不安になりやすい時期でもあります。そのようなときは、ぜひ保健センターにご相談ください。

■問い合わせ 保健センター(☎282局2797)



鈴木さゆりさん
(東海)

今回は、茨城キリスト教大学生生活科学部人間福祉学科に在籍する鈴木さゆりさん(22歳の登場です。視覚等に障がいのあるさゆりさんは、障がい者の悩みを共感し、手助けをしていきたいと、社会福祉士を目指して勉強中です。資格の取得に向けた、なごみ・総合支援センターでの現場実習では、これまで接する機会がなかった高齢者や地域の方を身近に感じる事ができ、良い刺激になったそう。「コミュニケーションをとりながら、障がい者が自分らしく生活できるように支援したい」と話します。

そんな彼女がリラックスできるのは、アロマセラピーや大好きな読書をする時間。「読書をするひとときが一番楽しい」と顔をほころばせます。

卒業後は、自分にできることを見つけていきたいというさゆりさん。「地域へ出て、たくさんの方とつながりを深めることでスキルアップしたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします」と皆さんへメッセージです。



ふるさと歴訪
歴史を再発見

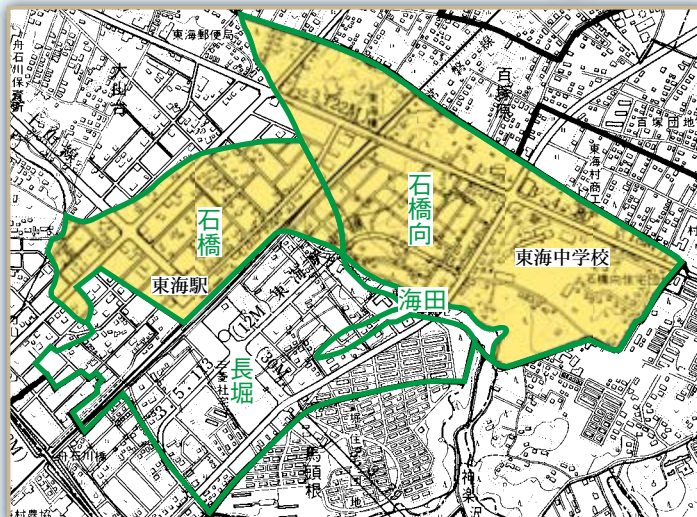
石橋の 駅家

東海村文化財保護審議会会長
須藤 佐武

駅家は、古代律令国家において、中央政府と地方とを結ぶ交通制度として、主要な道に30里(現在の16キロメートル)ごとに置かれたものです。駅家には、情報を伝達する駅使が利用するための馬が備えられており、交通の拠点となっていました。

河内駅家(水戸市)と助川駅家(日立市)の間の石橋駅家は東海村にあったと考えられています。石橋駅家の場所については、さまざまな説があり、久慈川南岸の豊岡(岡区内に石橋という字がある)にあったとする説や久慈川近くにあったという説があります。

また、舟石川の石橋・石橋向という字も注目されています。東海駅周辺にあり、現在は区画整理事業で、駅西・駅東となっている場所です。この、石橋・石橋向の周辺には長堀・海田という字もあり、古くはこの周辺まで湖があったものと思われれます。真崎浦は汽水湖(海水と淡水が入り交じっている湖)で、中世までは村松港としての機能を持っていたと考えられることから、7世紀ごろも現在の水田地帯は湖で、この地が水



陸交通の要所となっていたことが推測されます。さらに、この付近には古墳もあり、古くから繁栄していたことがうかがわれます。

したがって、現在の東海駅周辺の石橋に駅家があったことが想像され、国家が統一された古代国府(石岡市)から陸奥へと向かう道のりの中で、3番目の駅家として拠点的な役割を果たしていたといえます。

しかし、現在、石橋・石橋向が字として残っているのは、東海中学校周辺にある石橋向の一部のみとなりました。今後、中央地区の区画整理事業の進行により、地名を決定するときには石橋向の字名を残していただきたいものです。